

## 琵琶湖部会一般意見聴取試行の会（5/25）の報告

### 目次

1	開催までの経緯	p. 1
2	発表者	p. 1
3	結果報告	p. 2
4	アンケート集計結果	p. 3
5	アンケート結果 資料編	p. 5

### 1 開催までの経緯

- ・～4月下旬 開催内容の検討
- ・～5月上旬 琵琶湖部会委員に開催内容について確認し、開催が決定
- ・～5/16 ホームページやチラシ配布等により、発表者および一般傍聴者募集
- ・5月中旬 本会のテーマに沿っているか等の観点から発表候補者を選定
- ・5/25 琵琶湖部会一般意見聴取試行の会を大津商工会議所にて開催

### 2 発表者

No.	氏名	所属	意見
1	金尾 滋史氏	・滋賀県立大学大学院 環境科学研究科 ・多賀町立博物館多賀の自然と文化の館客員研究員	現在の琵琶湖・淀川水系において、学生として何が必要なのか、何が実践できることなのか
2	市橋 宏文氏	京都精華大学 人文学環境社会学科	琵琶湖をはじめとする自然環境と私たちが共存するには何が必要か
3	北山 泰三氏	京都府在住	琵琶湖・淀川流域における水質および底質の浄化、保全について
4	石山 一光氏	京都精華大学 人文学部環境社会学科	「つながり」の再生を目指すー現在の公共事業の問題点をめぐってー
5	安東 尚美氏	流域調整室	天ヶ瀬ダムの再開発について
6	野田 岳仁氏	・Youth Water Japan 代表 ・NPO 法人 世界水フォーラム市民ネットワーク理事 ・Young Water Action Team 日本代表メンバー など	①淀川水系流域委員会に世代間部会（世代別部会）を設置 ②「コミュニティの水を飲む」マイボトル（水筒）キャンペーンを行う

琵琶湖部会一般意見聴取試行の会(2003.5.25 開催)結果報告  
テーマ：これからの琵琶湖と川とダムを考える若者討論会

2003. 5. 29 庶務発信

開催日時：2003年5月25日(日) 13:30~17:00

場 所：大津商工会議所 2階 大ホール

参加者数：委員8名、他部会委員5名、一般傍聴者90名

### 1 本日の試行の会について

嘉田委員から淀川水系流域委員会の役割と本日の会の趣旨について説明が行われた。

### 2 一般からの意見発表と質疑応答

6名の発表者から各15分意見発表が行われた後、委員との質疑応答が各5分行われた。

#### ①金尾滋史氏(滋賀県立大学大学院)

発表内容：学生に何が提言できるのか；社会的利害にとらわれない、「国内移入種」が多いなどの学生の利点を活かし、新しい価値観をもって地域住民や行政との新しいつながりを作る、等

#### ②市橋宏文氏(京都精華大学)

発表内容：川と人との物理的、社会的「距離」をいかにして近く保つか；地方ごとの知恵や情報、さらには専門家の意見を共有し理解する、自分から自然に近づき体験する、等

#### ③北山泰三氏

発表内容：水の浄化技術の進展等が逆に水への関心を薄れさせているが、一方で琵琶湖や川の汚染が進んでいる。浄化にむけた長期的計画、技術的検討が必要、等

#### ④石山一光氏(京都精華大学)

発表内容：経済至上主義や権力集中から来る公共事業の問題点とそれに対する一般市民の責任、人と物や自然との「つながり」を再生する必要性、等

#### ⑤安東尚美氏(流域調整室 代表)

発表内容：治水か環境か、というくり方ではなく、治水も環境も土地利用も農業生産も含めた人間にとっての環境指標を提唱、わかりやすい治水や地域防災計画を求める、等

#### ⑥野田岳仁氏(Youth Water Japan 代表)

発表内容：討論会への提言；1) 淀川水系流域委員会に世代別部会を設置する。2) 「コミュニティの水を飲む」マイボトル(水筒)キャンペーンを行う。

### 3 自由討論

「若者の視点の特徴とは」「それをどのように社会参加の仕組みにしていくか」という論点をもとに、委員、発表者、一般傍聴者の間で意見交換が行われた。

<主な意見>

- ・若者は自由な意見を言える立場にあるが、その強みを知らない／自分が行動することで何か動くという達成感を体験したことがある人は少ない／その機会は自分で作るか与えられるかだが、最初は与えられると入りやすい／家族、地域が出発点。「環境」というと「行政や専門家のやること」となり関心が薄くなる／自由に意見が言える反面、後ろ盾がなく実際に働きかける窓口がない／(社会人の場合は)組織に頼る気持ちが自分を縛る。スタンスを明確にすることが大事、等
- ・若者に伝えるには、メッセージを歌で伝える、クラブイベントなど若者独自の情報伝達手段、やり方を活用すべき／流域委員会は大きく宣伝することよりも長期的な視点で治水や利水をよりよくしていくことが目的／無関心になってしまっている人の意見を踏まえた提言を、等
- ・住民参加部会に世代別部会を／世代別に分けない方がお互いに学べる／住民参加についてだけでなく、環境、治水、利水など幅広く若者に議論に参加してほしい、等
- ・本日の会のアウトプットは、どのようにして取り扱うのか。  
→本日の結果はホームページ等で公開し、今後具体化する際に部会や委員会で議論することになるだろう。

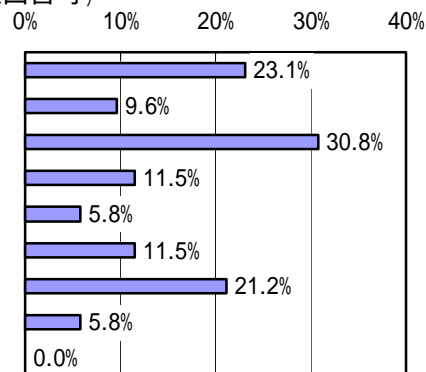
以上

※このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。

淀川水系流域委員会 琵琶湖部会一般意見聴取試行の会に関するアンケート 集計結果

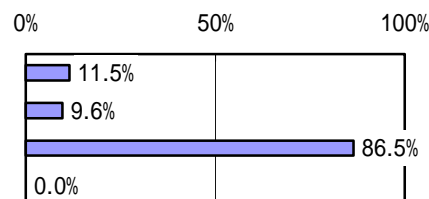
Q1. 本日、この会に参加いただいたきっかけを以下から選んでください(複数回答可)

項目	件数	構成比
1 委員から案内された	12	23.1%
2 知人(委員以外)から案内された	5	9.6%
3 庶務から案内チラシが届いた	16	30.8%
4 流域委員会会場でチラシを見た	6	11.5%
5 市役所など公共施設でチラシを見た	3	5.8%
6 行政関係者から案内された	6	11.5%
7 インターネットホームページ	11	21.2%
8 その他	3	5.8%
n 無回答	0	0.0%
回答者数	52	100.0%



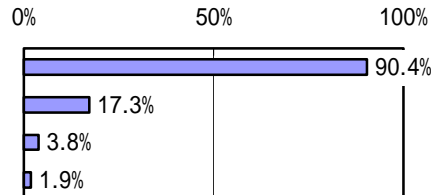
Q2 - 1. 実施する曜日と時間について(複数回答可)

項目	件数	構成比
1 平日の昼間がいい	6	11.5%
2 平日の夜がいい	5	9.6%
3 土・日・祝日がいい	45	86.5%
n 無回答	0	0.0%
回答者数	52	100.0%



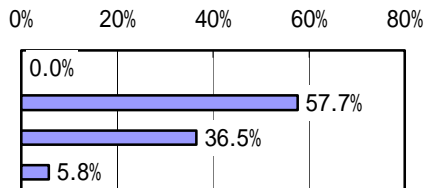
Q2 - 2. 実施場所について(複数回答可)

項目	件数	構成比
1 街中の交通の便がよい所がいい	47	90.4%
2 川の近くなど自然に触れあえる所がいい	9	17.3%
3 その他	2	3.8%
n 無回答	1	1.9%
回答者数	52	100.0%



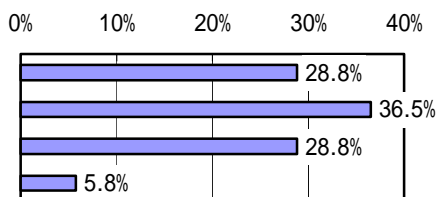
Q2 - 3. 自由討論の時間(60分程度を予定)について

項目	件数	構成比
1 長い	0	0.0%
2 適当である	30	57.7%
3 短い	19	36.5%
n 無回答	3	5.8%
回答者数	52	100.0%



Q2 - 4. 本日の琵琶湖部会一般意見聴取試行の会の運営方法について

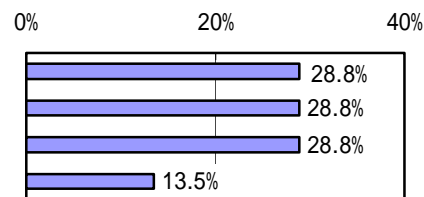
項目	件数	構成比
1 満足している	15	28.8%
2 どちらとも言えない	19	36.5%
3 やや不満がある	15	28.8%
n 無回答	3	5.8%
回答者数	52	100.0%



Q3. 本日の琵琶湖部会一般意見聴取試行の会の内容についてお伺いします

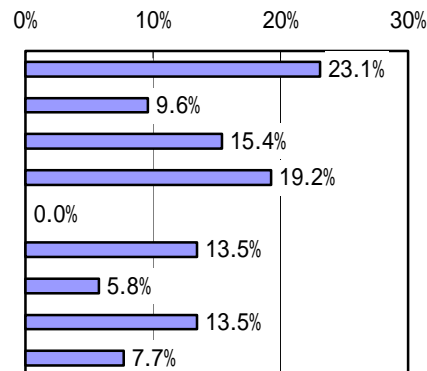
Q3 - 1. 本日の一般意見聴取試行の会を通して、満足されましたか。

項目		件数	構成比
1	満足している	15	28.8%
2	どちらとも言えない	15	28.8%
3	やや不満がある	15	28.8%
n	無回答	7	13.5%
回答者数		52	100.0%



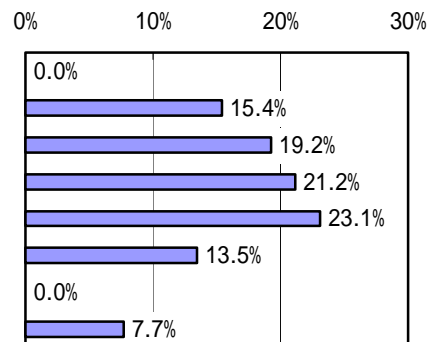
Q5. [職業](複数回答あり)

項目		件数	構成比
1	公務員(河川関係者)	12	23.1%
2	公務員(その他)	5	9.6%
3	NPO等関係者	8	15.4%
4	会社員・会社役員	10	19.2%
5	自営業	0	0.0%
6	学生	7	13.5%
7	主婦	3	5.8%
8	その他	7	13.5%
n	無回答	4	7.7%
回答者数		52	100.0%



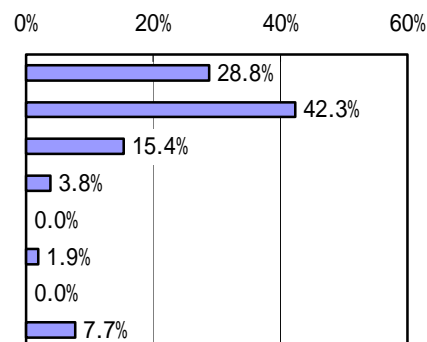
Q5. [年齢]

項目		件数	構成比
1	20歳以下	0	0.0%
2	21～30歳	8	15.4%
3	31～40歳	10	19.2%
4	41～50歳	11	21.2%
5	51～60歳	12	23.1%
6	61～70歳	7	13.5%
7	71歳以上	0	0.0%
n	無回答	4	7.7%
回答者数		52	100.0%



Q5. [お住まい]

項目		件数	構成比
1	京都府	15	28.8%
2	滋賀県	22	42.3%
3	大阪府	8	15.4%
4	奈良県	2	3.8%
5	兵庫県	0	0.0%
6	三重県	1	1.9%
7	その他	0	0.0%
n	無回答	4	7.7%
回答者数		52	100.0%



## 【アンケート結果・資料編】

Q1. 琵琶湖部会一般意見聴取試行の会に参加いただいたきっかけは？(複数回答可)
9 その他
意見発表者(石山さん)から案内
河川管理者の一員として
行政関係者として

Q2 - 2. 実施場所について
3 その他
今回の会場のように、駅からも程々であり、環境的にも湖畔であり、非常によい場所と思う。
時と場合によって、行う場所を変えていただけるとうれしい。

Q2 - 3. 自由討論の時間について
60分……………2名
90分……………5名
90～120分……………1名
120分……………5名
半日……………1名

Q2 - 5. 琵琶湖部会一般意見聴取試行の会の運営方法について
天ヶ瀬ダム再開発について流域委員会4月検討資料を事前配布してほしかった。 こういう検討をしていることは、宇治市民、宇治市議会など利害関係者に公開すべき(持ち出し禁止のため私からはできません。)
イベント企画による地域住民参加を促す。
インターネット、メーリングリストにてもっと多くの住民の意見を聞く。
円卓を囲む席の配置も会場の人たちの意見が出やすいやり方でよかったですと思います。
活動してない人、環境問題に関心のないのが一般の人ではないか。 人選に問題がある。
聞いているだけの委員は一般傍聴席にいるべき。
行動を起こす前の人の理念を議論したり、やり方、方法論を議論しても、あまりというかほとんど意味がないと思います。 いろいろな信念があるのが、事実でありその信念にそって行動した結果の報告会の場とされたらどうでしょうか。 聞きにくる価値があると思いますし、自分もと思います今日の野田さんみたいに。
この場にそぐわない発言が少しあった。 県河港課の話は良かった。
社会参加の方法として自治体経由の回覧板形式が良いと思う。家族会議を通じたり、一番気楽な家庭教育である。

Q2 - 5 . 琵琶湖部会一般意見聴取試行の会の運営方法について

自由討論で良い意見が多くきかれるので、自由討論の時間を多くとってもらいたい。
自由討論の時間について、少なくとも半日は討論しなければ
自由討論の時間について、テーマを決めると難しい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由討論の時間について、導入部での各自の主張は自己紹介程度に短く。</li> <li>・毎回、発表者を選ばれるのに苦勞が多いようですね。</li> </ul>
住民への連絡方法としては、行政機関(区市町)を通じ宣伝しては、
<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択項目に「不満」がないのはおかしい。</li> <li>・発表者の方があまりにも準備不足である。本日の会において何を問題提起したいのか、発表するからにはきちんと整理・準備をしてのぞむべきではないか。</li> </ul>
税金の大部分を負担している、働いている世代(30~50才代)の意見を聞く機会を設けるべきと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等にもっと情報を流せば良いのでは</li> <li>・自由討論の運営が少し下手すぎ(身内ばかりの発言が強い。自由討論ではない。結局対談になっている)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な意見があって、発表者の選考はよかったと思う。</li> <li>・琵琶湖部会の委員の出席が半分弱であり、普通の出席率なのか説明が聞きたいと思った。</li> <li>・もう少し会場の意見をきく(多くの発言者から)時間があればよかったと思う。</li> </ul>
妻や子供を連れて来れない。 いろんな貴重な意見を生で聞かせてもあげたいが、長くは持たないので、子供たちが遊ぶなりできる"もの"もあればなあと思います。
発言者として参加させていただきましたが、とても勉強になりました。あまりにも情けない発表でしたので、次回には努力したいと思います。
発言者に学生が多く「若者 = 学生」という感じになり「学生だから好きなことが言える」という発言まででていた。若者は、学生だけではないと思いますのでそういう人達の意見も聞いてほしい。(希望者がいなかっただけ?) ただ、学生以外の意見は言いにくかったと思います。また、学生であろうと発言には責任をもってほしいと思います。(たぶんもっているとは思いますが。)
発言者の意見をもっと対立的にすること。賛成派、反対派は意見交換するとか。 一方的な意見の述べ合いで参考にならない。
発言者のもち時間(15分+質問5分)が少し長かったのでは、発言者への会場の質問を受け付けるなどした方が良かったのでは?
発表者、委員のみの議論の時間が長すぎる。 本来の趣旨でもあるように、こういう機会にこそもっと会場と一体となった議論が必要。
一人一言といった事ができ、参加者皆んなの意見が聞けるような方法がないかな?と思います。 一般の人達の意見がもっと発言出来るような方法がないだろうか?
もう少し、傍聴している人の意見を言いやすい環境を作っていただきたいです。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと会場の参加者に発言させるべき。</li> <li>・委員の話が長い。もっと短くするべき。</li> </ul>
若い人への会の案内がどのようにされたのか、発表者の選択までの時間は十分だったのか。出席者の片寄り(若い人が多い)が気になった
特にありません

Q3 - 2 . 琵琶湖部会一般意見聴取試行の会について、ご意見、ご提案、ご感想などを自由にご記入ください。

一般意見聴取試行の会に「何を期待するか」が不明  
今回はたまたま「若手の意見」を企画した程度の意味しかない。  
住民参加の必要を掲げているが、そのための具体的実行案を作るのではないか。

一般の人の意見聴取になっていない。

いろいろな意見が聞けて、住民として、母親として何をすべきか考えました。  
一つの意見にまとまるのはむしろかしいと思いますが、皆が自分の立場を忘れて、地球規模で何をすべきか考えて行けば、よいのではないのでしょうか。  
本日は参加出来てとてもよかったです。

いろいろな分野の人達の意見を聞いてよかった。

・会の目的が十分理解できなかった。  
・年を取った者として、出席をためらった。

回を重ねるといいと思います。

川の役割は、心に対する役割も大きくしめると思います。汚さない事は、工事、家庭雑排水だけでなく、川に遊びに来る人達のモラル、責任も求めていかなければならない(琵琶湖も含めて)

関心のない人に意見をどう伝えるかという事が大きなテーマであったが、今、淀川流域委員会の提言がマスメディアに取り上げられて意見が伝わることは間違いないと思う。  
ただし、その点を利用して大きな声を上げようという人が出てくることは間違いなく、opinionではなく事実に基づいた議論を続けることが必要である。

来ていただくのではなく、集会の場に出かける発想も大事ではないでしょうか。

議論が発散している。  
河川をもっと真剣に考えてほしい。(河川に関する話題をもっと特出すべき)

こういう形でも、一般の意見をきく場を持つことは大切だと思います。どれだけ「反映される」か注目していきたいと思います。

・国交省 淀川事務所は、文部科学省と協議し、湖沼河川に自治体と協同でピオトープを実現し、子供に水の環境生態について理解を深めて頂きたい。  
・農・工業、生活排水について、生活者が理解できるよう、産官学がアピールしてはどうか

・このような会があること自体、知らない人が多いので、どのようにしたら一般の人達が興味を持ち参加できるのかといったことを考えていくことが大事だと感じた。  
・興味のない一般の人が多い場合、一般意見聴取そのものが成り立たない可能性があるため、直接的な興味がない人も参加できるようにしていくことを考えていく必要があると感じた。

今回の試みは、とてもよいと思います。  
まずは実体としてどんな状況なのか(世代間ギャップも含め)知るためにも、このような機会を続けていただきたいと思います。

次回も開催して下さい。琵琶湖部会の意欲に敬意を表します。

時間が短く伝えられなかった。

・地元の人意見も聞きたかった。  
・学生の討論会みたいになったのは少し残念でした。

自由討論にエンジンがかかるのに時間がかかるので、討論時間は長めが良い。

・水害経験のある人の意見を聞く事。  
・マナー向上、廃棄物処理、魚釣り、人間と力の倍増と自然の力差の拡大問題、環境一辺倒よりマナーの向上を図る事を考えよ！  
増水時で船が航行できること、切れないテグス、破れない網

大学生を始めとする若い人達の考え方が伺えて興味深かった。

Q3 - 2 . 琵琶湖部会一般意見聴取試行の会について、ご意見、ご提案、ご感想などを自由にご記入ください。

ダム関係の行政機関に係るもので、ダムに関する意見がもっと出ると期待していたが少なく残念であった。県でもダム計画があり進行中で地元(ダム周辺)住民の理解を得て進めており、また、川づくり会議等で一般住民の意見聴取し、河川整備計画としてまとめる段取りですが、淀川部会でも意見を聴く場を再度設定してはどうか。

・多様な社会層から意見をきくという今回の試みは、意義があると思う。  
・「つながりがなくなってきた」という意見があったが、今後の行政の取り組みとしては、まさに広く意見を聞いてコンセンサスを得ていくことが必要だと思う。

討論が討論になっていない。  
これまでの流域委員会と同様、各人が自分の意見(言いたいこと)を話すだけ、議論になっていない。

野田さんの「コミュニティの水を飲む」というのは良いアイデアだと思う。町内においてタダの水があれば喜んでくみに行きます。残念ながら夏の水道水はまずいのです。ぜいたくなモノなので、水があれば生活できますが、おいしいモノがあればそちらに行きます。これは生活の一部です。環境に関心のない人もおいしいもの、水道水よりも混ぜもののない“安全な”水ならば関心もてるのではないだろうか。一般の方で「間接的なアクセスを」といわれました。この「町内(コミュニティ)の水」はその一つに使えるのではないだろうか。

発言内容をホワイトボードに書かれていることは良いことだと思いますが、見にくい。残念。

発表意見は、意見が具体的で、提案も具体的なものに限るべきである。

・発表の意見は専門性の高い話題が多いかと思いましたが、そうでもなかったのも聞き易かった。その反面具体性にかけていたと思われる。提言になっていない意見が多いのでは…。提言されないのであれば、議論の場になればいいと思います。  
・嘉田先生はとてもファシリテーターするのが上手だと思いますが、いかんせんまとまりすぎな感が否めないように思います。もっとざっくばらんに話ができたらと思います。

日野川について要望書を提出しますのでよろしくお願いします。

・琵琶湖で農業・漁業をやっていた人の意見発表が残念。  
・学生さんがしっかりした意見を持っていることに感心しました。

方法論としてのやり方に対する意見になったり、嘉田委員が論点の矛盾についてみたりされてますが、意見を建設的にするためにも、事実の報告に限ったりしたらどうでしょう。

本会のような会は止めたほうがよい。

本年度中に、法に基づく河川整備計画が策定され、それに基づき、事業が進められていきます。流域委員会の提言までに、もっと多くの意見聴取の機会を得ることが、大切だと感じました。

また若者として参加したいと思います。

もっと意見が言える場がよいと思います。時間もとらなければならないと思います。

・もっとPRしていくべきである(そのようなものがあることを知らなさすぎる人が多いと思う)  
・できれば定例化してほしい。

流域委員会で議題になっている、地域の人達と河川の治水・利水・環境について話し合える場を設けるべきである。  
やはり、関係者として地元の人々の意見を大切にすべきである。

若い方々の自由な立場からの意見が聞けるオープンさは楽しく、なるほどと思える部分も多くあった。しかし、前半の3人の若者の意見はそれぞれの動きだけが出された感だけ残った。基本的に自分もこんなことやっているよということだけでよいのなら、意味があるかもしれないが、後半とは違った感じがします。

若者を特別視した扱いで進められている。環境に興味のある学生は非常に多い。もっとアピールしていくことが必要だと思う。  
大学内で、こういう委員会があるという告知も見ることがないのが実情である。

・若者論は大切ですが、別の場所でやるべき内容になっていたのでは。  
・そもそも本日のタイトルは「これからの琵琶湖と川とダムを考える若者討論会」であり、今日の議論の内容は本当にこれでよかったのでしょうか。せっかくの休日をこの会議の参加に使ったのは間違いでした。



Q4. 本日の会は、21世紀の社会の主役となるべき若い人たちから意見を伺うことを主眼において開催しました。若い人達からの意見聴取方法について、ご意見、ご提案等あれば、ご記入ください。

委員会で討議されている問題や提言は、特に琵琶湖部会では河川整備だけでは解決できないことが多い。委員会として他省庁、自治体、関係団体との連携、行政の垣根を取り払い法等の具体的な方法や提案を示してほしい。現状のままでは、貴重な意見や問題点が、葬られる事になると思う。

高校生や中学生に意見を求めるならば、流域の府県の教育委員会(高校の場合)、市町村の教育委員会(中学生、小学生の場合)を通して、各学校単位でも意見を求めることができるでしょう。

この「淀川水系流域委員会」の活動に若い人達からの意見聴取は必ずしも必要ではないし、この問題解決に老人は賢人であるには変わらないのである。若者の教育の場として参加には問題ないが、問題は、琵琶湖部会として「琵琶湖の環境」について「住民参加の活動」が効果のあるものにする具体化への取り組みが必要と思う。

- ・最近被災した経験のある人の意見も欲しい。
- ・水害経験の承継等の意見は全く無責任である。
- ・老人と若人との意見交換会形式もあるべし

事前に広く知らしめる必要性

少なくとも滋賀県内の高校・大学くらいにリーフレットを届けてはどうでしょうか。それを読んだ若者が一人でも来てくれたらいいのでは・・。

- ・テーマを決めておいて車座で実施する。
- ・本日の若い人達のグループに広報する。

とりとめのない意見が多かったと思う。

何度も開かれる中で、新たな試みを工夫していくことだと思います。今日もこれだけ多くの方が集まってこれているのは、淀川水系流域委員会への関心の高さの表れですね。次回、楽しみにします。

21世紀の主役なら、それぞれ20回以上を超えている委員会・部会の傍聴にまず参加する必要があるだろう。住民参加部会に「若者部会」を作るとするのは、ぜんぜん分かっていないのだろう。平日に行われているので、本日の6人は平日には参加しにくいのであろうが、傍聴の若者もそれであろう。

農協・漁協・森林組合・生協などで募ってみられては？

本当の一般の人の意見を聞くのが、この会の目的ではないか。

まず、関心のある人を増やさなければならない。具体的な方法はないが、マスコミから聞くより、家族や知人から聞くクチコミの方が説得力がある。一人でも多くの方が世間の会話で話をするのが遠回りでも大事なのかと思う。そういう点で最も住民に近い市町村の取り組みが重要である。市町村によってレベルは、まちまちなので、国は県や市町村に「大事なことを具体的に」もっと指示をすることが必要なのかも知れない。淀川流域委員会から直接市町村に働きかけても良いのかも知れない。

もっと多くの意見聴取する方法を考える事。

もっとディスカッションできる形の方がいいです。

・“若い人”から意見をきくということであれば、応募要項にもある程度の年齢を明記した方が主旨が伝わりやすかったのでは？  
・話の内容が「地域住民参加(方法)について」が主であったのが残念。淀川水系の開発についてつっこんだ発言がほしかった。

若い人だけなのか、水害経験を有する地元の長老の意見を集める必要があると思う。

若い人達がこの人数で来ている方だというのが驚きです。私の思うには、若い人達は環境問題を知っています。これは、いろいろな媒体があふれている為だと思います。がしかし、“気付いていない”というか理解していない分、分かっていないだけです。知っているのに気付かないという状況はほんの少しのキッカケで変えることができると思います。全然違った角度からどんどんアプローチすることを私はしたいと思います。

<p>Q4. 本日の会は、21世紀の社会の主役となるべき若い人たちから意見を伺うことを主眼において開催しました。若い人達からの意見聴取方法について、ご意見、ご提案等あれば、ご記入ください。</p>
<p>若い人達からの意見を伺うという事であれば、せっかく世界子供水フォーラムなんかも開かれた事もあり、その参加者からの意見も聞いてみたいと思いました。</p>
<p>若い人達だけで討論できれば、委員も一般傍聴席にまわる。</p>
<p>若い人たちの意見 不満 になりがちなので、何を問題としているのか、どんな理想を持って、現状をどう考えて、どんなことを考えているのか(行動したのか)といった、建設的な意見となるような枠組は提供してほしい。</p>
<p>若い人達の意見の中には、社会生活・基盤は自分達でつくる。それは、リスクも伴うという事が忘れがちであると感じた。          実生活で便利さを体で得てしまった時、又、自然の生活に戻れるであろうかと疑問を感じました。          今は、コンビニに行けば生活ができます。一世代前は、店に行っても、物は加工しないと食べることもできませんでした。便利さは人の感覚を鈍らすということを、生活を通じて見直してほしい。法とは別に、努力できることと感ず。</p>
<p>若い人達の考えが新しいかどうかはよくわかりません。当委員会が若い人を見つけようという意図は一定の目標に達成したと思いますが、より具体的な動きが聞けるパネリストを希望します。          運営ご苦労様でした。</p>
<p>若者からの意見をどんどん出してくれと言っているにも拘わらず、若者参加の話になったとたんに、「若者がそもそも流域委員会に来てない」だの「委員会にも来ずに勝手なことばかり言う」だのと罵り始めた。これはどういう事か。川に対する自由な意見を発言することが出来るというのが、委員会のメリットであるはずなのに、これでは発言を制限している。参加したいという若者に対して「流域委員会に来てないからダメ」とか「まず委員会を見てから言え」とつっぱねる行為は多様な意見の吸い上げを疎外する結果となるであろう。年寄りだけが満足する会であってはならない。ちなみに、私も、若者部会があれば参加したいし、委員会に参加できるならばしたいと考えている一人です。</p>
<p>若者は環境への関心を持っている、大学において環境××と名が付く学部・学科の多さはその表れである。</p>
<p>若者や他県の人意見は、違った角度からの意見として、とても有効ではないでしょうか。ただ一つのことだけを考えてしまう傾向があるように思いますので、いろいろな角度から見るようにして行けばよいと思います。          若者は与えられたことをする(与えられた場で意見を言う)のみではなく、自らが「聞いてやろう、見てやろう、やってやろう」の精神で、これから進んでいけば、新しい未来が開けて行くのではないのでしょうか。          今回発表されたような若者が増えることを祈っております。</p>
<p>淀川水系委員会の提言さえも国交省に取り入れられない様子であるが、徐々に世代交代が進み、若い人達の意見が取り入れられるようになっていくことを期待する。          ただ今日の意見を聴く限り、どうしたいという目標がまだはっきりしていないように感じられた。          今日の意見の中では石山一光さんの言われていることが全ての元凶のように思われる。委員会でも色々出されてきた話は技術面、専門知識的なものばかりのように思われる。</p>

<p>Q5. 職業</p>
<p>8 その他</p>
<p>パート……………1名</p>
<p>フリーター……………1名</p>
<p>無職……………3名</p>